

フェロモントラップによるオオタバコガの誘殺数

本年（4月第1半旬～11月第6半旬）のオオタバコガの総誘殺数は、龍ヶ崎市で平年よりやや多い～多く、土浦市で平年よりやや多く、筑西市で平年並でした。

5月第1半旬～第4半旬にかけ、いずれの地点も多発年より多い誘殺を確認しましたが、それ以降は平年並か少ない誘殺数で推移しました。

しかし、龍ヶ崎市では、8月第6半旬、9月第5半旬に多発年と同程度の大きな誘殺ピークを認め、それ以降は2半旬おきに同様の誘殺ピークを認めました。土浦市では、9月第5半旬と10月第4半旬に多発年を上回る大きな誘殺ピークを認めました。筑西市では、9月第5半旬と10月第2半旬に誘殺ピークを認めました。

11月第6半旬現在、露地におけるオオタバコガの発生はほぼ終息したと考えられるため、本年度のデータ更新は今回で終了します。なお、施設栽培では低温期でも加害が続くので、本虫が発生しているハウスでは防除を徹底してください。

